

極秘 1175
 (大正九年三月二十九日)

昭和九年三月二十九日

朝鮮總督官房 外事課

外務省 亞細亞局長 殿

中華民國政府外交部ニ於テ發行セル日支事變ニ關スルパンフレットノ件

日支事變並滿洲國成立ニ關シ在南京中華民國外交部情報局ニ於テ發行シタル左記宣傳用パンフレットヲ先般當地中華民國領事館ヨリ當地駐在各國領事館等ニ寄ニ配布セラレタルガ今同當方ニ於テ秘密ニ之ヲ入手シタルヲ以テ梗概翻譯ノ上各一部參考ノ爲送附ス

尙該パンフレット配布ノ行爲ニ對シテハ中華民國領事館ニ對シ相當ナ

朝鮮總督官房 外事課

昭和九年五月廿五日

朝鮮總督

9.4.-2

363 (0363

1175

交渉ノ停頓ヲ牽制打解セントスル政治的意味ヲ有スルモノナリトノ
 臆説ヲ揭ケ居レリ右御參考迄

支、北平、天津、滿へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

外務省

362 (0362

1175

處置ニ出ツヘキ處ナリト雖今後ノ情報蒐集上暫ク狀況ヲ監視スルヲ便
宜ト認ムルニツキ御含置相成度尙此點ニ關シ御意見アラバ御回示相成
タシ

朝鮮總督府

364 (0364

REEL No. A-0114

0480

アジア歴史資料センター

1. Peace and Order in Manchukuo?

1175

2. China's reply to the Japanese observation on the Lytton Report.

3. How Manchukuo was created?

4. Views of the Chinese government on the Lytton Report.

5. Japan's military aggression in Shanghai as seen by neutral observers.

6. Some plain speaking with regard to the Sino-Japanese Situation.

7. The Sino-Japanese Dispute Sept. 1931 - Feb. 1932.

8. The League's verdict on the Sino-Japanese Dispute.

365

0365

REEL No. A-0114

048

アジア歴史資料センター

一九三三年六月二十五日

滿洲國ノ安寧秩序トハ?

在南京中華民國外交部情報局發行
朝鮮總督官房外事課 譯

朝鮮總督府

366 - (0366

日本軍ハ全滿ニ亙リテ更ニ組織的ナル匪賊討伐方法ヲ講ス

滿洲ヨリ匪賊ヲ掃蕩スルコトハ滿洲國ノ安寧秩序確立上必要缺クベカラザルモノデアアルカ故ニ日本ハ滿洲國軍ト協力、新ニ組織的方法ヲ以テ匪賊掃蕩ニ從事セントシテ居ル

日本側ノ主張スル所ニ依レバ滿洲國ノ匪賊數ハ昨夏ノ二十一萬ニ比シ現在ニテハ十五萬ニ減少シテ而シテ此處ニ特ニ注意スベキハコレヲノ匪賊ハ現在ニ於テハ何等政治的動機ヲ有スルモノデナク張學良ノ没落竝ニ抗日團體ノ解消等ニヨリ反滿團體カ自然的ニ消滅シタコトニ原因スルモノデアツテ例ヲ舉グレバ先年日本軍ニ依リテ擊滅サレタ馬占山、蘇炳文並ニ李杜ノ部下ハ今ヤ純然タル匪賊ニ變シテ居ルトノコトデアアル

遺般日本軍主腦部ハ匪賊討伐ノ一方法トシテ十家族制度(註)保甲

朝鮮總督府

367 (0367

制度ヲ指スモノ乎一ナルモノヲ案出シタコノ方法ニ依レバ十家族ヲ一團トシテ滿洲三千萬民衆ヲ多クノ團體ニ區分シ各團體ヲシテ其ノ治安維持ノ任ニ當ラシメ様ト云フノデアアル且之ニ伴ヒ中央治安維持委員會ナルモノヲ組織シ其ノ支那ヲ各縣毎ニ配置シ日本軍人ヲシテ其ノ指揮官タラシメテ居ル從ツテ奉天省、吉林省、黑龍江省竝ニ熱河省各縣ニ於ケル縣數ハ一五七ヲ數フルヲ以テ各省ヲ通シテ一五七ノ日系滿洲國守備隊カ設置サレ且必要ニ應ジテ多數ノ軍隊ヲ派遣シ以テ軍事的占據ヲ完璧ナラシメントシテ居ル

更ニ日本軍ハ軍事上ノ命令ヲ以テ支那農民ノ鐵道附屬地帯ヨリ五哩以内ニ於ケル高粱栽培ヲ禁止セントシテ居ル

從來鐵道附屬地帯内ニ於ケル高粱ノ栽培ハ盛ンニ行ハレタモノデアルカラ此カ禁止ハ明カニ支那農民ニ對シ苛酷ナルモノト云フコトガ

朝鮮總督府

出來ル

彼上ノ命令ヲ勵行スルニ要スル日本竝ニ滿洲國軍隊數ハ不明デアアルカ各一名ノ日本將校ノ配下ニ少クトモ五〇〇名ノ手兵ヲ配置セシメテ居ルコトハ推測ニ難カラサル處デアル故ニ之丈ヲモ約九萬人ノ軍隊ヲ必要トスル譯デアリ且日本ハ日滿議定書ニ依リ國家防衛軍ナルモノヲ設置シテ居ルカコレニハ五萬乃至八萬ノ軍隊ヲ擁シテ居ル

斯如キ狀態ニアリテハ滿洲國農民ハ從前ノ如ク軍閥ノ壓迫ニ苦シムノハ必然デアツテ之ハ日本カ先ニ聲明セル滿洲國民ヲシテ支那軍閥ノ苦シミヨリ匡救ストノ趣旨ニ明カニ反スルモノデアアル只從前ト異ル點ハ支那軍閥ト日本軍閥トノ相違丈デアル而シテ吾人ハ日本ノ斯ル行動ヨリ果シテ何ヲ學バントスルカ

朝鮮總督府

→ 滿洲國ニ於ケル日本ノ監察、宣傳並ニ匪賊討伐
 日本カ過去二十二ヶ月間ニ亙リテ四百五十萬平方哩ヲウ勝大ナル支
 那領土ヲ占據ヤンタメニ費シタル軍費ハ約五億圓ニ達シテ居ル然
 シテ日本ハ其ノ結果却ツテ滿洲三千萬民衆ノ信用ヲ失墜シ且日本ノ
 施政ソノヨロシキヲ得ザルタメ滿洲ノ安寧秩序カ漸次擾亂サルルニ
 至ツタコトハ日々ノ新聞記事ニ徴スルモ明カナル事實デア
 七月一日マンチユリア、デーリーニユースハ滿洲國ノ事態益々惡化
 ノ傾向アルヲ以テ日本軍主帥部ハ一刻モ早ク軍隊ヲ増派シ滿洲ノ平
 和ヲ確保スル必要アリト説イテ居ル更ニ滿洲國治安維持ニ關シ同紙
 ノ報道スル所ニ依レバ日本軍部ノ計畫ハ即チ奉天省、吉林省並ニ黑
 龍江省ノ各省ヲ七軍隊區域ニ分割シ各區ニ一名ノ司令官（日本將校）
 ヲ置キコレニ日本軍守備隊、滿洲國軍、日本憲兵隊、鐵道守備隊並

370 (0370)

ニ其他ノ自衛團統卒ノ絕對權ヲ與ヘ且大部隊ノ日本軍守備隊ヲ各區
 毎ニ配屬ヤシメントシテ居ル而シテコノ守備隊ハ更ニ分割サレテ各
 縣ニ配置サレ滿洲國軍隊ト合ヤテ日本下級將校ニヨツテ指揮命令サ
 レルコトニナツテ居ル而シテ熱河省ノ治安維持ニ關シテハ何等曹及
 シテ居ナイカ略前述ノ方法ニヨルコトハ明ナアル故ニ此ノ結果滿洲
 國ハ全國ヲ通シテ軍事的占據ヲ見ルニ至ルテアラウ
 事態斯ノ如キニ拘ラス遺般武蔵全權ハ左ノ如ク聲明シタ
 「滿洲國ニ於ケル匪賊數ハ漸次減少ノ兆ヲ示シ目下ノ處約三十萬位
 テアル滿洲國ノ治安維持ハ從來左ノ三期ニ分チテ行ハレタモノト
 云フヲ得ヘク即チ
 一 一九三二年八月初旬ヨリ一九三三年二月迄
 一 一九三三年三月ヨリ同五月三十一日迄

371 (0371)

一九三三年五月三十一日ヨリ同十月迄
 以上三期ヲ通シテ滿洲國ノ安寧秩序ハ漸次回復シツツアルニ不拘最近諸外國間ニ滿洲國內ニ於テハ匪賊ノ跳梁甚クシキ爲同國內ノ治安維持ハ極メテ困難ナリトノ宣傳ヲスル者ノアルコトハ誠ニ遺憾デア
 ル
 奉天及其ノ他ニ於テ外人拉致事件ノ起リシコトヲ以テ直チニ匪賊ノ跳梁甚シト爲スハ當ヲ待ザルコトナアル云々
 次ニ述ベントスルハ滿洲國ニ於ケル日本ノ新聞檢閲方法デア
 從前新聞紙ノ檢閲ハ關東軍、關東廳、日本大使館、滿洲國政府等ノ手ヲ經テ行ハレタルモノデア
 ルカ今後ハ共同委員會ナルモノヲ組織シテコレヲ檢閲機關トスルコトナツタ
 同委員會ハ日本大使館、關東廳、關東軍、滿洲國政府、日本憲兵司令

372 0372

部等ヨリノ代表者(各二名宛)ニヨツテ組織セラレ檢閲ノ任ニ當ルモノデア
 ル且各種ノ新聞記者ノ會合ニハ同委員會ヨリオブザーバトシテ委員ヲ派遣シ以テ監察ノ任ニ當ラシメテヤ
 ル
 道般滿洲國入國禁止ノ厄ニ逢ヒタルアフトンクローズ(ジヨセフ、ワシントン、ホール)竝ニハルビンヘラルド紙記者イ、レノクス、シムプトン
 追放事件ニ關シ在天津日本軍情報部ニテハ七月七日左ノ如キ聲明書ヲ發表シタ
 「日支事變勃發以來外人デ(新聞記者、大學教授等ヲ含ム)種々ノ名目ノ下ニ日本竝ニ滿洲國ノ國情調査ニ來タモノハ多數ニ上ツテ居ル(多クハ米國人ナリ)
 外務省竝ニ關係當局者ニ於テハ日本竝ニ滿洲國ノ實狀ヲ廣ク世界ニ紹介センタメニ出來得ル限り斡旋シテ來タカ彼等外人ノ中ニハ歸

373 0373

國後排日宣傳ニ從事スル者カアル故ニ日本及滿洲國トシテハ斯ノ如キ傾向アル外人ニ對シテハ斷乎タル處置ヲ採ルト同時ニ又一公平無私以テ極東ノ實狀ヲ廣ク世界ニ紹介セントスル外人ノ來訪ニ對シテハコレヲ衷心ヨリ歡迎スルモノデアアル

マフワタン共和國（東北支那共和國）

滿洲國機關紙タタン、デーリーニユース紙ノ報道ニ依レバ一九三三年六月一日ヲ以テマフワタン共和國ナル新國家カ實現シ「世界ニ訴フ」ト題スル次ノ如キ聲明書ヲ發表シテ而シテ同共和國ハ左ノ五地方ヨリ成立ツテ居ル様デアアル

一 中央部（吉林省中部六縣ヲ含ム）

二 東部吉林省（吉林省東部、中央部以外ノ十三縣ヲ含ム）

374 (0374

20

一 東部黑龍江省（黑龍江省東部十一縣）

二 東部遼寧省（遼寧省東部八縣、朝鮮西北部ニ接スル六縣）

三 某國租借地

「世界ニ訴フ」

支那共和國東北四省ノ人民ハ今ヤ日本軍閥ノ壓迫下ニ苦シメツツアル而シテ我等ハ日本ノ所謂滿洲人ノ總意ニ基キテ建設サレタリト稱スル彼ノ傀儡國家タル滿洲國ヲ承認スルカ如キコトハ斷シテナイ
目下我方祖國支那共和國ハ日本ニヨリテ占據サレタル滿洲國奪回ノ氣力ナキガ爲メニ吾人ハ一九三三年六月一日ヲトシテ友邦ノ助ヲ借り茲ニマフワタン共和國ヲ建設シ憲法ヲ發布シ民主主義ニ則ル政治ヲ行ハントスルモノデアアル

375 (0375

21

朝鮮總督府

フワタン共和國建設ノ趣旨ハ民族自決主義竝ニ國際聯盟調查團報告書ニ基調ヲ置クモノデアルフワタン共和國ハ民族的獨立ノ精神ヲ以テ極東ニ於ケル國際紛争ヲ解決シ更ニ世界平和確立ノ使命ヲ全ウセントスルモノデアアル

フワタン共和國ハ門戶開放ヲ遂行シ且諸外國カ友情的精神ヲ以テ富源開發ニ投資センコトヲ衷心ヨリ希望スルモノデアアル

本共和國ハ諸列強ガ正義ト協調ノ精神ヲ以テ新共和國ノ進展ヲ調査シ且之ニ正式ノ承認ヲ與ヘン爲ニ人員ヲ派遣セラレムコトヲ望ンデ止マナイ次第デアアル

米國革命及スラブ民族獨立ノ結果地方的安寧秩序カ急速ニ達成セラレシハ歴史ニ明カナル所デアツテ極東ノ現状モ之ト全ク軌ヲ一ニシテ居ル且帝國主義、共產主義ノ衝突ヲ免レ極東ヲ戰禍ノ巷ヨリ脱セシメン

376 (0376

朝鮮總督府

タメニハフワタン共和國ノ如キ緩衝國ヲ建設ヤントスルコトハ焦眉ノ急務デアルト思フ

以上ノ趣旨ニ則リフワタン共和國ハ平和ヲ愛好セラルル諸列國ニ代表ヲ派遣シ以テフワタン共和國ノ真相ヲ説明シ併セテ各國ノ御援助ヲ仰グ次第デアアル

377 (0377